

第2回幼稚園再編に係る地域協議会(壱分幼稚園) 会議録

日 時:令和3年4月6日(火)15時から

場 所:壱分幼稚園リズム室

参加者:森本座長、井ノ上委員、坂本委員、中瀬委員、大宮委員、立石委員、宇高委員、板倉委員、新町委員、清水委員、中嶋委員、新土園長、坂谷次長

事務局:原井教育長、奥田部長、松田課長、福山補佐、松本指導主事、生水(会議録作成者)

傍聴者:5名

<開会>

教育長挨拶

座長挨拶

次第1 生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方で示された再編案に対する意見聴取の概要

事務局説明(別紙資料1のとおり)

事務局 その他として、壱分町西自治会からも意見をいただいている。

事務局説明(別紙資料2のとおり)

次第2 原案に対する追加意見について

座長 資料2の意見に加えて、追加で発表したい意見や、意見聴取の進捗状況などがあれば紹介してほしい。

委員 ゾーン30の管轄は警察だと聞いているが、壱分幼稚園の周辺についてゾーン30を検討してもらえたらと思う。自治会の会長としての意見。

事務局 ゾーン30については市内でも数箇所あり、警察の公安委員会が管轄となると思う。地域として要望をあげてもらったり、会長にも手間をかけたりすることになるかもしれないが、その際には協議を進めさせてもらう。

座長 他にあるか。もし今後も意見が提出されれば、引き続き事務局に提出してもらえれば。

次第 3 原案に対する意見を踏まえた課題の整理について

座長 地域協議会には、原案に対する課題の検討と、その課題の対応策について話し合い、最終的にはそれらをまとめて意見書として提出するという役割がある。皆様からいただいた意見について、課題の整理を始めたいと思う。

事務局説明(別紙資料3のとおり)

座長 あくまで案ということだが、事務局で課題を整理していただいた。何か意見等あるか。

委員 原案というのは簡単にいうとどういうものか。こども園化することと、統合することが教育委員会の原案か。壱分幼稚園となばた幼稚園をこども園化するという意見もあったが、そうではなく壱分幼稚園となばた幼稚園を統合してこの壱分の場所でこども園化ということか。それを原案として意見を言えばいいのか。そこがハッキリしないと意見を言いにくいだろう。

座長 原案について再度説明してもらえるか。

事務局より「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」の説明

委員 もう一度確認する。こども園化すること、統合すること、そしてそのこども園は壱分幼稚園の場所で開園する、これらが教育委員会の原案ということでよろしいのか。内容はもちろん把握できている。そういう立場で意見を言えば良いのかということ。

委員 前教育長は、今のやり方には答えがないと言っていた。つまり結論が決まっていない。私は行政側の言う課題をどうイメージしたらいいのかわからない。課題というのは普通何かを解決するもの。現状と目標値との差が課題である。今の課題は教育委員会が結論を出すための課題なのか、こども園に対する課題なのか、どちらの課題なのかがわからない。

事務局 まず原案の「なばた幼稚園と壱分幼稚園を統合しこども園化」に向けての

課題整理をしていただきたい。ただ、前教育長が言ったとおり、これはゴールではない。仮に原案に解決できない課題があれば、最終的に意見書として出していただいたら良いと思う。

委員 この場は意見を言う場ではないのか。その意見を集約して整理し、それを教育委員会に出すというのが私の理解だったが、違うだろうか。今の説明だとそうではなくて、ここで決めてほしいといったように感じる。そもそも意見についてはもう出しているが。

事務局 意見をいただいて終わりではなく、取りまとめた意見から出てきた課題について、解決策があればそれも協議していただきたい。この協議会に決定権があり、責任が伴うというものではない。そしてその課題が解決できるものなのか、無理なのか、そういう部分まで協議いただきたい。

委員 課題が何かわからない。

委員 3月3日にPTAに配布した意見聴取票についてはここに集約していないのか。

事務局 その場で意見は無かったが、意見聴取票は持って帰っておられるので、後日提出はあるかもしれない。

委員 私も今のニーズを考えて、こども園化には賛成。その上で意見するが、資料のその他の意見の中で、「幼稚園が軸になっているこども園は、行事が平日になるため働く親は仕事を休むか不参加になる。幼稚園は夏休みなど長期休みや運動会の代休があるが、保育園には無い。同じ場所に通っていて、保育園児は早く帰る幼稚園児の子どもを毎日見ているのはかわいそう。幼稚園の無償化が、公立から私立に園児が流れた原因」という意見がある。幼稚園児と保育園児で差があると聞いているが、教育委員会は単純に幼稚園と保育園の機能が両方ある建物だけを目指しているのか。大前提は子どものために何が良いかということになるが、保育園児は自分で判断ができないため、大人の考えでということになる。今の社会の風潮では保育機能があれば良いという風になっており、こども園化には賛成だが、生駒市の思うこども園がどんなものをハッキリ明示してもらわないと意見が言いにくい。大分類はいいと思うが、目標値がない。課題についても意見するが、人によって状況が異なる中で議論しても意味がないのではないか。子どもの安全について、生駒市が目標にする安全とはどんなものか。それを明示しないと、みんなに意見を聞かなくて

はならなくなる。

委員 前に質問させてもらったが、こども園の1日のタイムスケジュールを言ってくれないとわからない。意見にもあったが、幼稚園と保育園で帰る時間でバラバラになるならば、こども園を避ける家庭もあるかもしれない。こども園が良いというが、その中身がわからない。同じ時間で同じ授業をうけているのか、クラスを裂いて授業をしているのか。なので、早めにこども園の内容を教えてもらえないだろうか。課題の解決というが、まだそこまで踏み込めていないと思う。

事務局 資料の作成が間に合っておらず申し訳ない。他の園でも同様の意見があるので、また資料を作成する。概要版は意見聴取票に添付していたものだが、それでは生駒市が運営していく中での実情としての課題を示せていないので、次回までに作成する。

委員 資料に目を通したが、結論が決まっていなかったからこんなことになるのでは。統合するのは決定事項だと思っていた。資料を見ると、こども園化には大体みんな賛成かと思うので、こども園化については決定してもいいと思う。ここでの問題は統合すること。統合がなければ、課題は大幅に減少する。統合しようとするから問題がたくさん出てくる。統合は決定しておらず、あくまで案である。バスの運賃やルートなどはここで協議することではないと考えている。皆こども園化には賛成なので、ここでの論点は統合するかどうかについてではないだろうか。なばた幼稚園の統合をやめて、なばたもこども園化したら課題もすっきりすると思う。違いますか。

委員 (上記の質問については)議論の目的地を引き出すという意図を持って質問したものである。

委員 こども園化についてはもう良くて、統合をするのかを決めてから議論すればいいと考える。統合が決まってもいないのに、バスについて論議しても仕方が無い。統合こそが一番大きな問題点。それについて議論すべきではないか。

座長 統合について議論したのが、幼稚園教育のあり方検討委員会。そこで専門家などが約2年にわたり検討を重ね、出来上がったのが答申。その答申に基づいて教育委員会が示したのが、この原案。ここで再度議論しても、あり方検討委員会と同じような結論になるのではないかと思うが。

委員 以前質問したときは「極論を言えば、幼稚園存続もある。」ということだった。

つまり基本的には存続は無いということになる。つまり、なばたを廃園にし、壱分で園児を引き取ってくださいということは決まっているということか。

事務局 私の説明で決定事項と思われたのであれば、訂正したい。原案は決定事項ではなく、あくまでたたき台。教育委員会は原案の通りで考えているが、地域や保護者の方はどう考えているのかが知りたい。今までだと行政が決定してすぐに実行してきたが、これからはそうではなくて、皆さんと共に子どもたちのために何が良いのかを一緒に考えたい。市長や教育長の方針もそうである。ただ、ゼロベースの何もないところからだと協議が難しいと思い、たたき台としての統合案がある。それについて皆さんの意見を聞きたい、そういう姿勢で協議会の力を借りている状況。また、それぞれでこども園化といったような原案とは別の案があれば、それらも盛り込んだ意見書を作っていただいたら良い。その意見書は、皆さんに責任の生じる決定事項のようなものではないので、統合の中止やそれぞれでこども園化など、いろんな意見があってもいいと思っている。

委員 私が理解しているのは、ここは意見を言う場、情報を提供する場所ということ。今まで、原案の説明を受けてメンバーの意見を交換したが、メンバーの属する団体の意見も聴取しましょうということになり、この聴取票になった。それで集まったのが90件。その意見を踏まえて、次にどうするのかということを議論しなくてはと思う。原案の部分の議論をしようということになると、今まで集めてきた意見など意味がなくなってしまう。現時点ではこの集まった90件の意見が全てだから、これに基づいて議論していかないと。もうちょっと説明があればこのような議論にはならなかった。この90件の意見を活かしきれていないから、議論がバラバラになる。何について議論するか焦点を絞らなくてはいけない。最終的に統合かどうかは市が決めると言っているので、市が判断する上での判断材料をまとめて提供しようというもの。課題の整理の仕方が改善されれば、もっといろいろな意見も集まると思う。

委員 最終まだ決まっていないということだが、原案の通り進めたいのでコメントを求めていると思うが、教育委員会がどのように課題を解決しようと思っているのかわからない。解決案についてはコメントできるが、それがないと我々もコメントの出しようが無い。だらだらと時間がかかり、これでは我々も迷惑。意見の集約だけでなく、教育委員会が課題解決に向けて具体的にどうしようと思っているのかまで提示してほしい。そうでないと次のステップに進めない。解決に向けた具体的なアイデアが出せないのであれば、我々に変なプロポーザルをしないでいただきたい。例えばゾーン30の件でも、意見を聞いてから警察に話しを持っていくと2ステップになるが、市で確認して報告してくれば1ステップで済む。真剣に統廃合を進めたいの

であれば、教育委員会の考えていること、心積もり、腹の中をもうちょっと提示してもらわないと次のステップに全然進まない。意義のある討論でなければ次回から委員も欠席となるのではないか。具体的に何を考えてどうしようとしているのか、それを示してもらえないと意見の出しようが無い。理論武装ではなくやるのであれば何をどうするのか真剣に考えてプロポーザルしていただかないと。

委員 意見にあった、どのようなこども園を考えているのかということだが、幼保連携型こども園で考えている。生駒市にはまだ無い型である。認定こども園生駒幼稚園は幼稚園型であり、土曜日や夏休みは開いていない。幼稚園児と保育園児は8時半から14時まで同じ教室で過ごす園を考えている。早朝と夕方は保育園児にとっては基本の保育時間となるが、幼稚園児についてもその時間は預かり保育として使ってもらえる仕組みを考えている。本来であれば南こども園と一緒にいきたかったが、このような状況下なので、また後日、南こども園開設時の問題などについて話ができる機会を設けられたらと思っている。ただ、それをこの場ですべきなのか、それか弁当や制服の問題についてもざっくばらんに話せるような場として保護者に向けてすべきなのか、そういう場をどう作っていけばいいのかということについては教えていただければと思う。統合の話がでたが、私たちの根本的な課題は就学前のこども達の教育に対するもの。1クラス20人を下回っており、壺分幼稚園は11室のうち4室しか利用されておらず、なばた幼稚園も9室中3室しか使っていない。統合により2クラスずつ設定できれば、集団の中で多くの経験ができるのではないかなと思う。生駒は早くから3歳児保育を行っており、3歳以上の子はいずれかの施設に行っており、新たなニーズはないと考える。ただ、0～2歳にはまだニーズがあると思う。もちろん両方を公立でこども園化できたら良いと思っているが、その際はキッチリとしたサービスを提供したいと考えており、そのためには先生の数が今より約3倍必要となるが、人材不足である。ただし、なばたや俵口でも伝えていることだが、跡地に民間の力をプロポーザルなどで借りて、こども園をとすることは可能かもしれない。我々は市内の就学前サービスをいかにして提供するかを考える部門なので、いきなり高齢者施設ではなくて、いかにしてこの地域の子どもに就学前サービスができるかを考えていきたい。地域の方が、塾が良い、スポーツクラブが良い、ということであれば、跡地利用についてはそれらになるかもしれない。このようになばたや壺分でも説明している。今まで3つの園で第2回協議会をさせていただいたが、いずれも会が終わってから意見が出てきている。協議会中は緊張もあって話せないとのことだった。なばた幼稚園から保護者の意見も聞きたいという意見があがっており、制服などについてざっくばらんに話す機会がワークショップのような形式でできればと思っている。

委員 3つのことの確認として、端的に言いましたが、話を進める上で、原案がわかってなければ意味がなかったから発言した。前教育長は、港を出発したが、行きつく港はまだわかっていないと言っていた。こういう港につきたいということであれば私たちもまた違った。そこがあやふやだった。だからあえて引き出すために私は確認した。後で訂正されたが。それから今おっしゃったように、原案というのは、この今日渡された90の意見が原案として、これを基に協議するのか、その点がわからなかった。だからあえて3つにしばらせていただいて確認したのが先ほどの意見。それからもうひとつ、この協議会として最後に意見をまとめるということか。極端に言えば、こども園化に賛成か反対かまでまとめるのか。決めるのは教育委員会だと思うが。

座長 こういう意見があるので賛成、こういう意見があるので反対とまとめて意見書にするという認識。

委員 教育委員会が判断できるようにまとめるということか。

委員 ぜひ指摘しておきたい部分がある。アンケートでとても気になる部分があった、ある意味大変な問題を含んでいると思う。アンケートに特別な配慮を必要とする子どもとあるがどういうことか。

事務局 特別な支援を要する子どものことで、公立の幼稚園は特に積極的に障がいのある園児への支援が逆行しないように、今まで通りしっかりと支援ができるように加配の先生を配置するなどして、引き続き継続した配慮が必要ではないかと基本的な考え方には書かれている。

委員 それはわかっている。出された意見の中にこういうものがある。「空いた施設があれば、それを配慮が必要な園児専用の施設にすればいいのではないか。」と。私はこのアンケートから学びがあった。平成28年に障害者差別解消法ができたのに、あえてここでこのような質問をする必要があるのだろうかと思った。皆同じなのである。このような質問の仕方をするから、このような回答がでる。ただ、こういう意見があることが悪いということではない。これがまだまだ教育の課題であるということ。このような問題提起をしてくれてありがたいと思う一方で、やっぱりこの部分は「全ての子どもが安心安全にできるよう配慮します。」と書けば問題なかった。あえて今の時代の流れの中で、このような表現でアンケートをとる必要があるのかなと。そう思った。障害者差別解消法で「障害のある人も無い人も、全ての国民が相互に人格を尊重しながら共生する」とあるのだから、こういう表現をしないで全ての子ども達が、平等に理解しあっていく様な施設にやっていきますよということでアンケ

ートとったほうが良かったのではないか。このページが一人歩きすると、大変なことになると思う。用紙回収されてもいいのではと思った。アンケートのこのまとめ方は疑問。教育委員会として出すには配慮が必要だったのではないか。これをお母さんが見たらどう思うだろうか。心配なのは、このアンケートを公開する場合もありますと書いてあるところ。これが公表されると、大変なことになるのではないかと思うぐらい衝撃を受けた。文春砲が流行している。こういうことを配慮してほしいというのが一点。ただこういう意見があるということは生駒市の障害者教育はまだまだ余地があるなと。

座長 意見が広がりすぎて収集がつかないですが、どうしていくべきでしょうか。

委員 今後の進め方の提案である。統廃合で本音はもう決まっているのに何を協議すると言うのか。集めた90の意見はパッと見たところ、今まで出た答えと同じだと思う。もうちょっと具体的にこの課題について答えをとというようなことがハッキリしていればすっきり協議できるのではないか。木の議論ではなく、森の議論をしたい。個々で考えるといろいろとあるだろう。教育長が言った子ども達に何が最良か、それが森の議論。具体的な目標に対する課題を提案していただき、それに対して協議をすれば、新たに具体的な意見が出てくるのではないかと。それが今後の進め方の提案。同じことを繰り返すのであれば、次からの協議に参加するか考える。

委員 会議の進め方として、主催者側は冒頭にはっきりと何について議論するかを決めないとこういうことになってしまう。こんな会議だったら次回から出る必要はないと思う。何を求めているのか、それを言わないと座長が困ってしまう。この地域協議会で何を求めているのか、テーマについて意見を求めているのか、統合前の課題なのか、統合後の課題なのか、ハッキリしないのでストレスもたまる。

事務局 前回の協議会の資料2で、地域協議会での目的、協議内容、運営方法ということで説明した。2、協議内容の①基本的な考え方で示された再編案、「原案」を検討するにあたり、懸念される課題と必要な対応について協議する。②原案に対する一部修正や追加等あれば、その修正案を協議する。③方向性を取りまとめる際の、その他の検討事項あればしていただく。④保護者、地域としての再編に対する方向を整理して意見書を取りまとめ、市教育委員会へ提出すると、地域協議会の協議内容を示した。その後資料4でスケジュールを提示している。あくまで案としてのスケジュール。第1回は今後どうするかの説明をして、第2回の地域協議会は聴取した意見の共有と整理、原案に対する協議、原案の検討にあたり懸念される課題と必要な対応の協議となる。本日お願いしたかったのは、冒頭説明を急いでしまったが、次第

3で課題の整理をしてほしいということだった。説明が足りなかった。いただいた意見について、まず披露させていただき、次第2で追加等あれば発表してほしい。そこから次第3で課題を整理しようと考えていた。あくまで原案に対しての意見を皆様に聴取していただいている。そして、集まった意見で原案に対する課題があれば整理していただきたいというところ。本日私の説明が至らずに、ストレスとなり申し訳ない。90件の意見を整理し、意見書のたたき台を作成するので、それに対して具体的に協議いただけたらと思う。あくまで事務局の提案であり、地域協議会で進めていただきたいが。

委員 本音ベースで言っているか。出されたものはだいたい同じ意見だと思っている。意見を集めるともう答えが、この協議会の向かうべき港が見えているだろうと思っている。よって、ある程度目標を決めたらより具体的で深い議論ができるのではないか。それが森を見て議論するということ。的を絞って議論すれば、また新しい意見も出てくるのではないだろうか。それが提案であります。

委員 皆の意見がここに集約されているわけだが、解決策は教育委員会が考えることだろう。バスはどうするのかなどについては教育委員会が解決策を提示して、それについて協議会で協議するならわかるが、今の白紙では丸投げではないか。何か書いていただければ協議もしやすい。

座長 この辺については、事務局でなにか無料にする見込みであるといったような案を用意できれば、協議になるのではないかなと思う。今わかっている段階まででも、例えば駐車スペースについてはここを活用する予定だとか、その辺まで出してもらえれば次回具体的な対応が考えられると思う。出てきた課題について、事務局ではこういう対応策が考えられるのではないかと提案があれば、議論が進むと思う。

委員 90の意見や質問について協議会で一つ一つ解決していただくつもりはない。この意見から見えるもの、例えば原案に対し経済的な負担増を心配する保護者が多いことから、それについて今後検討していかなくてはならないということであれば、それが地域協議会としての意見だと思っている。こども園運営の日々のスケジュールについて情報が少ないと思っておられるのだったら、見学ツアーを実施するとか、さらなる丁寧な情報提供に努められたい、ということが地域協議会の意見なのかなと。そういうレベル感で私は考えている。バス代を何円にするといったレベル感では考えていない。

委員 それを冒頭におっしゃってくださればもっと議論できた。

委員 統合こども園化という前提があるからこの課題が見えている。それを最初から言っている。ここに出ているのは壱分幼稚園となばた幼稚園を統合してこども園化した時の課題だろう。統廃合を前提としていたら議論もできた。だから最初に確認した。

座長 通園についての課題はこのようなものがあるが、この解決策でいかがですかということまで投げかけていただいたら、協議のしようもあると思う。また議論が戻ってもしかたないので、答申を受けて作成された原案が子どもの教育や保護者のニーズなどに対して良いとして、事務局が出す課題の解決方法について協議し、空欄を埋めていけたら良いと考える。それでよろしいか。

事務局 そのようにさせていただく。事務局で対応案を提示する。

委員 統廃合してこども園化の原案を前提ということで話をさせていただく。それでよろしいか。

委員 答えはその通りだが、あくまで意見交換や意見聴取、協議を進めた結果として、原案通りを住民は求めているということになった。

座長 こども園の運営について共通理解が必要だと思う。こども園では1号2号といった表現がされている。こども園になったらこういう形になるとか、課題があるとか、そういうのも教えていただきたい。ここを共通認識しないとまた議論がずれていくと思う。

事務局 またこども園について詳しく説明させていただく。

座長 次回もう次来ないと言う方もいるが、そう言わずに来ていただきたい。次回の日程調整をお願いします。

事務局 作成した資料を確認していただく時間も必要かと思っている。5月21日(金)15時から、壱分幼稚園リズム室で決定してよろしいか。

教育長 たたき台といいながら具体的な教育委員会が描く絵図が見えてこない。これが今日の一番の課題だったのかなと思う。具体的に何を目指しているのか、皆さんにどういうことを協議いただきたいのか、持ち帰って次回には議論いただけるよ

うなものをもちたい。本日はありがとうございました。

<閉会>